

〈注記〉

- 1. 架台の据え付け 据付面の水平を確保願います。 不連続基礎や鉄骨への設置では支持面積を極力 広くしてください。
- 2. アンカーボルトは含まれておりません。 先様にてご用意ください。
- 3. 防振材の初期配置は理論上のものです。 状況に応じてレベル調整をお願い致します。 レベル調整は防振材の移動で行います。
- 4. ストッパーの調整 機器設置後に左図 (A) (B) 共に1~2mm程度 隙間を開けてください。
- 5. 品質改善のため製品の仕様は予告無く変更する 場合があります。

防振架台仕様書

型式 N-SPH3300MCA

日立 機器 MATRIX Σ

現場名

系統名

架台質量

103 kg

53.8 kg

6 本

防振材(コイルスプリング)

NS181-375 15.46[kgf/mm] 8 個

□75x75xt2.3 上ベース 下ベース □60x60xt2.3

40.3 kg

耐震ストッパーボルト M20 耐震基準

水平 2.0 G, 鉛直 1.0 G 溶融亜鉛めっき

HDZT56

適用地域

標準•塩害地域

<付属品>

表面処理

機器固定ボルト

溶融亜鉛めっき

M20x130L (平W, 角W, NTx2付)

4 組 溶融亜鉛めっき

架台連結ボルト

M16x210L (角Wx2.SW.NT付) 連結スペーサー

溶融亜鉛めっき

4 組

4 組

<備考>/2

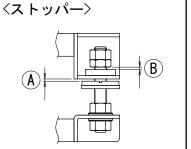
連結時の機器ベース端面間の離隔を 50mmとして設計しています。

番号	日付		改訂記事			
$\hat{\Lambda}$	' 20. 11. 1	20. 11. 18		型式設定		
<u>^2</u>	' 20. 12. 2	22		備考追加]	
<u></u>	' 23. 09. 2	20	アンカーボルト有効埋込変更・図枠更新			
4	' 23. 12. 07		アンカー詳細訂正			
発行日		承認	設計	作図		
' 20. 11. 12			加納	内野	内野	

ネミー株式会社

図番 1 - HTP351

37.5	3225	37.5
\[\frac{1}{\lambda} \]		• •
720	o	•
1	レカーボルト孔 φ24)	



〈アンカー〉(参考) 接着系アンカー(M16)

 $100 \sim 110$

4

有効埋込: 220mm以上 3

A3 SCALE= 1:20